



India Weekly

2020年12月21日



(対象期間：2020/12/14～2020/12/18)

【株式市場】SENSEX指数の推移 (2016年1月1日～2020年12月18日)



【株式市場】

外国人投資家からの資金流入にけん引され、週初のインド株式市場は上昇しました。15日は利益確定売りも出て小動きとなりました。16日は米国の経済対策協議への進展期待が高まって海外市場が堅調となる中でインドも上昇しました。17日も良好な投資家心理が続く中、金融株が買われて続伸しました。18日も小動きながら上昇し、週間でも上昇となりました。SENSEX指数などの主要株価指数は過去最高値を更新しました。

2020/12/11	2020/12/18	変化率
46,099.01	46,960.69	+1.87%

【債券市場】インド本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2020年12月18日)



【債券市場】

週初、インド準備銀行（中央銀行、RBI）のダス総裁が緩和的な金融政策を維持すると発言したことが好感されて、インド10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。その日の取引時間終了後に発表された消費者物価指数（CPI）は市場予想を下回りましたが、翌日の市場の反応は薄く、その後17日まで小動きとなりました。18日は金融政策決定会合の議事録の発表を控えて、警戒感から10年国債利回りは上昇し、週間ではわずかに利回り上昇となりました。

2020/12/11	2020/12/18	変化幅
5.898	5.908	+0.010

【為替市場】インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日～2020年12月18日)



【為替市場】

前週末に発表されたインドの10月の鉱工業生産が市場予想を上回ったことなどが好感されたほか、外国人投資家からのインド株式市場への資金流入が引き続き支援材料となって、ルピーは対米ドルで上昇しました。一方、円も対米ドルで上昇し、円の上昇幅が大きかったことから、対円では下落しました。

2020/12/11	2020/12/18	変化率
1.413	1.406	-0.47%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。 ※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。 ※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。 ※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。 ※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。 ※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会



英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。